

美術講座2019〈日本・西洋の美術家シリーズ〉

回	月日	講座名	内容	当日観覧できる展覧会
1	5/23	萬鉄五郎と棟方志功 新明英仁（市立小樽美術館長）	岩手県に生まれた萬鉄五郎と、青森県に生まれた棟方志功。東北地方の風土と深いかかわりをもつ二人の造形表現についてお話しします。	近美コレクション 三岸所蔵品展
2	6/13	「東山魁夷 唐招提寺御影堂障壁画展」への招待 齊藤千鶴子（道立近代美術館主任学芸員）	開催中の「東山魁夷展」の紹介(60分)と展覧会鑑賞。	近美コレクション 三岸所蔵品展 「東山魁夷展」
3	6/20	エミール・ガレ -世紀末、アール・ヌーヴォーの魅力 松山聖央（道立近代美術館学芸員）	19世紀末にフランスで花開いたアール・ヌーヴォー（新しい芸術）。その中心人物としてガラスや家具の分野で活躍したエミール・ガレの芸術を紹介します。	近美コレクション 三岸所蔵品展
4	6/27	ジョルジュ・ルオー -20世紀最後の宗教画家 村山史歩（道立近代美術館主任学芸員）	20世紀最後の偉大な宗教画家といわれるルオーの画業を、今秋近代美術館で公開の新収蔵作品とともに紹介。	近美コレクション 三岸所蔵品展
5	7/4	家老にして画家、風雅の人 蠣崎波響 五十嵐聡美（道立近代美術館学芸統括官）	松前藩主の子として生まれ、松前藩家老という重職に就きながら、優美な花鳥人物を多く描いた蠣崎波響の生涯と画業についてお話しします。	近美コレクション 三岸所蔵品展
6	7/11	「余、生来、画を好む…」 山下りん 大下智一（道立近代美術館学芸企画課長）	聖画にこめた情熱と苦悩—。日本人初のイコン画家、山下りんの生涯と画業を紹介。	近美コレクション 三岸所蔵品展
7	7/18	天才建築家 ガウディの夢 寺嶋弘道（本郷新記念札幌彫刻美術館長）	没後100年の2026年、未完の建築といわれた世界遺産「サグラダ・ファミリア」がついに完成?!しかし…。奇想の造形に満ちあふれた夢みる建築の数々を紹介しします。	近美コレクション 三岸所蔵品展
8	7/25	エコール・ド・パリの時代に マレヴナ という画家がいた! 柴 勤（小川原脩記念美術館長）	ロシア出身のマリィ・ヴオロビエフことマレヴナ（「海の女王」の意）がパリに出たのは1912年、20歳の時。マレヴナの周囲に繰り広げられたパリの芸術家たちの様子をひもときます。	近美コレクション 三岸所蔵品展
9	8/15	キスリング -理想の写実絵画を求めて 田村允英（道立近代美術館学芸員）	エコール・ド・パリを代表する具象画家・キスリング。「良い絵を描くこと」を理想としたキスリングの写実主義について、肖像画や静物画を題材にお話しします。	近美コレクション 三岸所蔵品展
10	8/22	カラヴァッジョ -闇から輝く真実 地家光二（道立近代美術館上席専門員）	栄光と狂乱に彩られた夭折の生涯—。西洋絵画の革命児、伝説の天才画家カラヴァッジョの魅力と魔力に迫ります。	近美コレクション 三岸所蔵品展

* 講座日程・内容が都合により変更になる場合もあります。